

興味深く読める
電気学会の本



志田林三郎 傳 -日本電気工学の祖-

信太 克規、志佐 喜栄 共著

本書は、今日の日本の情報化時代を明治時代に既に予測していた人物、日本の電気工学の先駆者、志田林三郎の生涯を丁寧に記述した歴史書です。佐賀県・多久での生い立ちから東京・工部大学校の卒業までの第一部と卒業後の英国グラスゴー大学留学、帰国後の官界学界での活躍、36才での早逝までの第二部から構成されています。

とりわけ、林三郎が設立した電気学会の最初の総会での驚嘆すべき演説内容が137年前になぜできたのか、その発想は今日に生かせるのか、本書は彼の生涯からその謎を探っていきます。

《目次》

第1部 誕生から工部大学校卒業まで

第2部 英国留学と帰国後の電気工学発展への貢献

A5判 並製 196頁 定価 1,870円

ISBN 978-4-88686-288-4

全国の書店、インターネット書店でお求めください。



電気学会北陸支部では、一般の方々に科学の面白さを伝える活動を応援しています。

「日本の半導体」は
遅れている？
その思い込みは
捨ててください。

レゾナックの新サウンドメディア
「レゾナック ナウ」はこちら



半導体は次世代へ。進めるのは、レゾナック。

半導体の材料技術で世界をリードしてきたのはずっと私たちレゾナックをはじめとする日本の化学会社です。それだけではありません。今、「次世代半導体」開発の鍵を握る存在として、これまで以上に期待を集めているのです。

化学の力で社会を変える。 **RESONAC**



株式会社レゾナック

〒105-7325 東京都港区東新橋 1-9-1 東京汐留ビルディング



株式会社レゾナック・セラミックス 富山工場

〒931-8577 富山県富山市西宮町 3-1